

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

1ビルから本町通りまでの通りの上に道を作り新たに出来た空間に広場、イベント空間を作り活用する

何かを変えなければ、何も変わらない。期待しています。

銀座通、名前のイメージと現状が合っているとは思えない。なにより、古臭く、「戦後」感漂ってくる。行政区としての変更は難しいなら、せめて愛称などを考えてみてはどうか。

広場通り案に期待することの内容は、いまある幅広い歩道上に十分実現可能です

バスなどの今ある公共交通やグリーンスローモビリティなどの新しい交通と、ウォークアブルな空間との共存については、空間再編が肝要と考えていました。銀座どおりの空間再編はしないとのこと。スモールに取り組むようで、残念です。

一宮駅は名古屋駅から電車で約15分というとても行きやすい場所のはずなのに、市外からの来訪者がいない街になっている点。真清田神社や歴史や伝統をアピールするならば宿泊施設や民泊を増やして外国人観光客も訪れたい街づくりや、演劇などの催しで各地から様々な人が足を運ぶ街となることを私は期待していますがいかがでしょうか？

物事を大きく変えることは難しいと思います。小さな変化を仕掛けることと、変化を受け入れる仕組み作りをすることで、未来につながる形ができたらいいですね。

結局のところ道路空間再編によるハード整備は行わないのでしょうか。

空間再編しないのですか？？

そもそも本町商店街は以前から11-20時は車両通行止めになっているのだから、一時的なチャレンジでなくて常に空間を活かした商店街にしていくべき。緊急車両の妨げにだけならないように。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

今、駅前本町側の駐車場が少なく、本当に本当に困っています。月極は新しく探しても絶対ないです。駅向こうまでいかないといけません。そんなんではいくらマンションを作っても、売れないか、すぐに引っ越してしまいます。車社会の一宮市では、駅前であっても駐車場がないというのは致命的です。まず駐車場を考えて欲しいです。

せっかく地下道整備するのなら、地下に商店街を作ってみては。

本当にがっかりです

駅前の人の対流ができるところに、以前は名鉄百貨店が貢献していたと思う。現在改装の工事が始まっているが、まちなかの賑わいに繋がるのではないかと期待しているが、そのことが話題にあがってこないのは、どうしてか？区分が違うのか？

これまでの議論を一市民として参加し、見てきました。関わってこられた方々の並々ならぬ奮闘を感じてきました。市政100周年から今まで様々な企画を見、話を聞いてきましたが、銀座通りについては変わらない（変えられない）という市の決定には心からガッカリしました。今後このまちはどこに向かうのでしょうか？

地下駐車場の老朽化対策で国の費用でやると20年手を入れられないということを、わかった上でどのくらいの人に参加出来ていたのか、意見をだしていたのか、根本がズレているのではないかととても悲しい。

『ほこみち』の原点は、『道』が変われば、『街』が変わるというところだったのに、その『道』を変えずに『街』を変えようとするのは、ソフトのみに頼る事になると思うが、、、

全国にいる一宮出身者などが仲間入りできる「ふるさと一宮応援団」のような仕組みはないのでしょうか？市外の人達に一宮市の取り組みがより認知され、訪れてもらい、横展開してもらわないと未来への継続性が生まれないと思います。

銀座通りの歩道は現状維持とのこと、今の歩道でも十分な幅員があり、ハード整備の方針としては妥当な判断と思う。当面は真清田神社などのシンボル活用、ほこみちの積極取組、歩道と店舗のバリアフリー推進などを進めて欲しい。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

変革を望んでいる者です。いまお話を聞き、今後20年はこのままだということがとても残念です。

会が始まる前か楽々、本気で町をよくしたいのか疑問である。

主たる意見を述べた方は、現状から脱皮できない高齢者ばかりなのでは？ 未来を支える若者の意見は吸収しているのでしょうか？ 未来会議とは名ばかりでは？

凍結で現状維持ということではなく。両サイドの幅広い歩道を整備してそこに魅力あるウォークアブルエリアを創ろうということだと思います。まずは平日からでもキッチンカーや各種ブースを呼び込んで。

中野市長ご説明を！

銀座通り、本町通りの賑わい創出には、集客装置が必要です。リニア開通を視野に未来に向けて、まちなか周辺を自動運転実証実験の特区認定を頂き、自動運転に取り組む事業者を誘致し、研究開発のエリアとしてはどうでしょうか？国内外から、多くの来客が見込まれると思います。車と人の未来予想図として、夢が広がり、わくわく感が膨らむと思います

行政の意見をこの場でちゃんと言うべきでは？ハードを変えないで街の中心を変えていく方法や一意見を聞かせてほしいです。

地下駐車場と地上道路について、一宮市全体の新しい公共交通システムとしてどう活用するか、議論をしていって欲しい。

新しいビルが建築ラッシュの中で本町、銀座の店主の意見はまとまっているのか？生活環境を整えるなどの面もどうなってるか？

現状維持と判断された根拠の定量的な内容を市の方に聞きたいです

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

車ではなく、人が自身の体の中に流れる血液の様に流れ、運び、再生出来る街になる事を期待します。

道路のハード整備は現状維持になったのは残念です。本日の出村さんの説明を聞いて、ようやくどういう結論になったのか、今日気づいた方も多いと思いますが、本当に今回の判断に会場の皆さんは賛成なのでしょうか？改めて挙手でもいいのできいてみたいです。

現状、若者が本町商店街を利用する機会は七夕祭りやハロウィン、鯉のぼりなどのメインイベントの時だけだと感じている。駅を利用する学生は多いのに、歩いて数分の商店街を利用する機会が少ないのはもったいない。

どこにお金を投資したのか、一宮の若者にもお年寄りにも一宮市外の人にも多様な老若男女にわかるような変化をもたらしてほしい。それができるからこそ行政や専門家に混じって市民みんなでつくるまちができていくと思います。

松山・花園町通りのウォークブルを参考にするといいのではと思う
<https://sotonoba.place/hanazonomachi-matsuyama>

居心地良い場所として浮かばない感じ。シャッターが多くても隙間風のない散策しやすくしてほしい。

市側の人間が議論に参加すべきでは？

駅前整備はバリアフリーが重要との意見に賛成です。まちなかハード整備は、当事者である障害者、子育て、高齢者などの関係団体の方々の意見を必ず聞いて進めることにしてはどうでしょうか。

ソフト中心から始める施策に舵を切るに至った意思決定のプロセスを聞きたいです。なにを目標にした上で、どんな意見を優先・考慮したのか。現状のソフト事業の取り組みを整理した上で、これからどんな仕掛けが必要なのか見通しはありますでしょうか。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

本町は福山市本通・船町商店街を見習うといいんじゃないかとおもう <https://www.g-mark.org/gallery/winners/9de38961-803d-11ed-af7e-0242ac130002>

ベットタウンとしての発展が一宮の町の発展だと思える。市内のインフラ格差の解消、是正こそに予算を！

観光客を増やすためにも市のシンボルとして商店街南側のアーケードは復活させるべき

銀座通りの話ばかりしているけど、道路変更反対している人の多くは千歳通りを遮断することに対する抵抗のはず。これは市街地の人だけの話ではないので

一宮市の住民の方は皆さん現状満足で豊なんですよ。商業活性化による再開発よりは名古屋のベットタウンで良いと判断されたわけで、定住施策にシフトした方がいいんじゃないでしょうか？

フラットな通りの編成は、出雲大社の門前にある「神門通り」がウォークアブル事業で変わった例があります。そこは歩道と車道の境が色のみの違いで段差がありません。一宮は真清田神社の門前町なので、同じ様なフラットな作りもよいのではないかと思います。また本町通で始まった「ほこみち制度」を銀座通りでも利用して行きたいと思います。

何かを変える時は大胆に変えなくては何も変わらないです！ちまちま変更するのではダメだと思う。日本中、世界中が注目される様なことをしてほしい。Iビルから本町通りまでを空中道路で繋ぐのが良い

ミュンヘン市役所前は、フェスティバル広場でありながら、時間制約した上で車も入れる

まちなか整備している東岡崎駅前整備の事例を見るとハード整備に税金を投入しているほどの効果は薄いと感じますが、乙川の賑わいづくり(公共空間である川の規制緩和)などのソフト面では効果が出ている印象もあります。今の一宮まちなかの資産を活かしてソフト面の議論を活発化して欲しい。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

地下駐車場について、商店街にも人の出入口が欲しいです

これからの一宮市を支える若い世帯の人たちが、この市は変わらない、期待できない、もっと暮らしやすい街へ移住しようと今後も流出し続けていくことを、魅力のないこの街を危機として市の関係者の皆さんには真剣に考えていただきたいです。

中野市長の判断の根拠をお聞きしたい。副市長の今のお話なら、実験後に判断が変わる可能性はあるのか？

銀座通りの空間再編について、結局のところは、どちらですか。空間再編はしないと結論付けたという説明があったかと思います。一方で、山田副市長の補足では4年後に地下駐車場するまでペンディングと聞こえました。矛盾してませんか。

姫路駅の場合 駅をおりたら姫路城がみえるという視覚的なシンボルがありますが、一宮の場合 真清田神社に行くまでの途中のシンボルとして 駅を降りたら大きい鳥居があるなど 何か繋ぐ同線を考えられないかなど この未来会議に期待をしてしましたが。。この会議のこれからの方向性、これからどんな議論をしていくのか 説明をお願いします

何を目的としてどんな街を目指すのかという長期的なゴールがみえない。メディアを巻き込んだ議論が足りないような気がします。

何のためのシンポジウム？ガス抜きですか？ (edited)

一宮に住んでいる肌感覚としては、大学の先生達が参考とされている欧州の事例と違って、一宮はまちなかを歩行者利用優先に大きく整備するほどの規模がないのではと思うし、多くの人が車での生活なので、もっと多くの市民の声を聞く必要があると感じます。

一宮駅で降りる人は観光目的じゃなくてそこらへんの店舗や事務所で働く人、そこに用があって行く人が主なので、そこに振り切っていくしかないのでは。真清田神社が伊勢神宮になることはないです。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

銀座通りでも同じことが言われていましたが、年数回のイベントではなく、商店街全体のデザインを改めたり商店街常設のお店たちが本気を出さなければ魅力ある商店街となるのは難しいと感じています。空き店舗や、借り手募集すらされていない土地も多すぎます。

銀座通りから→やる気のあるところから。に転換してはいかがでしょうか。話をお聞きしていると、銀座通り沿線の方はやる気がなく、本町通り沿線の方は、一枚岩ではないかもですが、何かをやってみようという印象を受けます。

商店街の道を思い切って公共交通専用にするのはどうでしょうか？人の生活を思うからこそ、多様な世代を認め、町の中心として再認識するからこそ、商店街前駅ができるくらい大胆に地域を担うモビリティと人の生活に焦点を当てるようなアイデアがあっても良いかなと思います。

真清田神社から真っ直ぐ南の道は、歩行者専用にするべき。ここを使わなくても南北にはいくらでも通行できる。朝の抜け道にしかになっていない。

本町通りは単純に危ないと思います。舗装を変えるだけでも車のスピードが制御できるのではないのでしょうか？

2026年秋に木曽川沿いの一宮総合体育館でアジア版オリパラとしてバドミントン競技が開催されるので、障害がある人も外国から来た人も誰もが楽しめるまちなかづくりを進めて欲しい。

本町通りの建物は、ひとつのコンセプトに沿って、統一感のあるデザインの建物の並びにすると、利用する人の印象に残る通りになりそう。

パラの意見を見て、パラテニスの小田凱人選手は一宮時之島の人です。そういった人を加えての街づくりはインパクトもあると思います。

YouTubeで一宮を取り上げるのを見たが、やはり、ホテルや、喫茶店に困っているみたいですね

商店街は適度な密度が魅力でもあるので、現状の車道の広さは弱みでもあるけど……屋根があってこの広さがある空間というのを強みにする策というのは考えればいろいろある。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

真清田神社の参道としての価値と共に本町商店街の次の担い手の連帯感が見受けられない印象は変わらない感じですね。せっかくの機会なのに

犬山の針綱神社前の参道が平日でも賑わっているのは 面白いお店 が増えたから。面白い店を増やしましょう。

製造業に強みのある愛知県内にあって、一宮は製造業が強くなく財政力にやや難がありますが、強みはファッション、繊維、女性が多いことなど。小田くんがファッションショーに出たように、強みをマスコミにPRするような取組があると市民としても自慢になります。

名古屋から興味が有り、初めて参加させて頂きました。確かに名古屋の商店街よりは元気がない様な…たまたま昼食を本町通商店街のレトロな喫茶店で取りました。珍しいランチでちらし寿司、茶碗蒸し、お吸い物。今日がお雛祭りだからなんですね。とても温かい気持ちになりました。もっと盛り上がります様、陰ながら応援しています!!

通過止め時間中、1カ月程、ある区間に絞って商店街の真ん中に店を(移動販売)をだせる仕組みなどはどうでしょうか？ まんなか商店街。

お店を出すなら商店街に出したいと思っている市民です。今後の市政や商店街組合の取り組みにも期待しています！市民はもちろん、近隣や県外、海外からも訪れたいと思える魅力ある街になりますように。

まちなかの空き店舗などの空き空間が塩漬になっているのはもったいないので、貸し出しを促すような仕掛けをお願いします。

一宮市長がITに強いのも一宮市の強み。新しい公共交通システムの実証実験などもまちなかで考えて欲しい。

(東京)十条商店街は一週間単位で貸し出すお店が多くありました。本町商店街にもそういうスペースが増えると嬉しいです。

会場から寄せられたご意見

第5回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

車での生活が日常。休日にまちなか周辺に車を止めてまちなかで楽しむ余裕があるといいですね。

本日のシンポジウムで一宮市の人口が38万人とありましたが、既に37万6千人にまで減少しています。今この瞬間にも人口減少は進んでいます。この状況を打開するため必須である空間再編をなぜ否定されるのか理解できません。本件の住民投票を要望します。ご対応をお願いします。